



元気な大田原を創ろう！ 鈴木たかしを励ます会

鈴木たかしを励ます会事務局 発行 / 鈴木たかしを励ます会会長 蜂巢 貞美
〒324-0043 栃木県大田原市浅香3-3-19 TEL.090-9969-8790 <https://suzuki-takashi.11furusato.com/>

12月定例議会一般質問などの報告

一般質問（令和2年12月2日）

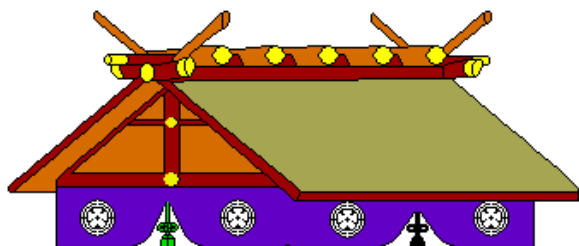
国民体育大会・同リハーサル大会・全国障害者スポーツ大会に向けた準備状況、デジタル化による行政サービスの効率化と質的向上、デジタル化による学びの保障などについて一般質問を行いました。

また、12月議会では令和2年度補正予算案などについても審議を行いました。

国民体育大会・同リハーサル大会・全国障害者スポーツ大会に向けた準備状況について

栃木県で開催されるリハーサル大会まで1年を切っており、準備状況などについて質問しました。

大森教育部長より次の答弁がありました。
「運動部の高校生を競技補助員として120名、一般の高校生を90名、それぞれ募集することとし、学校等と協議調整を進めます。また、この12月1日から令和4年5月まで、約100名の予定でボランティアを募集しています。」



「児童生徒の観戦については、家族で会場にお越しいただき、親子で国体を楽しんでいただきたいと考えています。国体観戦ガイド等を作成し、児童生徒を通じ各家庭へ配付することにより、家族での観戦を推進します。」

「市全体の活性化を図るため、市民総参加、魅力発信、市民スポーツの推進、地域スポーツの活性化の4つの目標を掲げて、国体開催を一過性のものとせず、未来のまちづくりにつなげることにしています。」



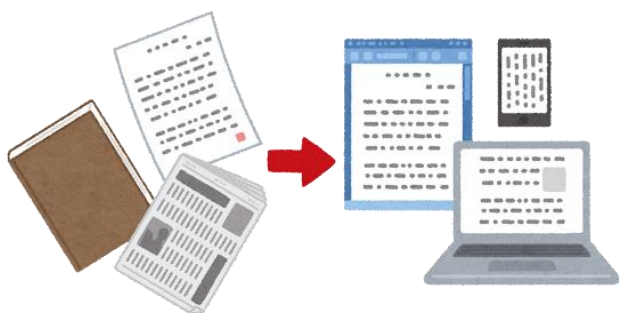
デジタル化による行政サービスの効率化と質的向上などについて

9月の新政権の発足に伴い遅れの目立つ我が国のデジタル化を促進するための検討が加速していますが、大田原市の対応や人材確保、大田原市をPRするための市内の風景などの市民などへの画像提供について質問しました。

津久井市長より次の答弁がありました。

「県や他市町と足並みをそろえて、デジタル化を推進してまいります。その際、デジタル化することを目的とするのではなくて、デジタルに不慣れな方でも利便性の恩恵を受けられるよう、国の支援策等を活用しながら進めてまいりたいと考えております。」

「デジタル人材の確保はますます重要性を増してまいります。市の対応といたしましては、デジタル分野の専門的知識を有している職員も増えてきておりますので、内部の人材育成を進めていくことと併せて、市内企業との情報交換や国の人材支援制度など、広く情報収集しつつ、優秀な人材の確保に努めてまいります。」



「現在市のホームページ、フェイスブック、ツイッターは、市内の風景やお祭りの画像などを数多く掲載しており、市内外の方々に御覧をいただいているところでございます。今後は、本市のPRにつながる画像、素材をブラッシュアップをいたしまして、引き続き皆様方によりものが提供できるよう素材の収集と公開に努

めてまいります。」



デジタル化による学びの保障などについて

教育分野における押印の見直しなどの状況やGIGAスクール構想（小中学生1人1台パソコン端末整備）に対応した机、黒板モニターなどの環境整備、学童保育館におけるインターネット環境の整備について質問しました。

植竹教育長から次の答弁がありました。

「各校におきましては、押印省略や連絡手段のデジタル化が可能な取組について確認を行い、順次対応していく予定であります。今後県や近隣市長の動向及び本市の方針を確認し、適宜各校への情報提供等の支援を進めてまいりたいと考えております。」

「（新JIS規格を）旧JIS規格（小振り）の机と併用している学校もございます。（パソコンが机から落ちないように）授業中の机の利用状況などを調査し、対応してまいりたいと考えております。また、机以外にもGIGAスクール構想に対応したプロジェクター等の学習環境整備についていろいろな活用状況などが考えられますので、適時対応してまいりたいと考えております。」



「今後児童が学童保育館において宿題等をパソコン使用により実施することになれば、現在使用しているルーターの能力と併せて、それぞれの施設環境に対応できるよう整備を進める必要があるものと考えております。また、未整備の学童保育館におきましても関係部署と連携を図りながら、対応を検討してまいりたいと考えております。」



☆他議員の一般質問において、小中学校の給食費無償割合を8割から5割へ減額することなどの令和3年度予算の縮減に関する市長答弁が有りました。

（参考）質問項目

上記以外にも次の質問をしましたが、答弁の内容は大田原市議会のホームページ※をご覧ください。※「大田原市議会 インターネット映像中継 鈴木隆」で検索下さい。

1 国民体育大会・同リハーサル大会・全国障害者スポーツ大会に向けた準備状況などについて

- (1) 市内で行われるリハーサル大会3種目（相撲、ソフトボール、バドミントン）のこれまでの準備状況及び今後のスケジュールについて伺います
- (2) 大会会場となる県北体育館などの整備や役割分担などに関する県や関係団体（県・市）との連絡調整状況について伺います
- (3) 審判や強化選手などの確保や育成などについて伺います
- (4) 大会運営支援のための人員確保について伺います
- (5) 経費の節減や選手団の歓迎会などの関連行

事を含めた大会運営の簡素化について伺います

- (6) ふるさと納税制度を活用した大会開催準備や運営のための財源確保について伺います
- (7) 環境が整った際の市内の児童生徒などによる競技を直接観戦する機会について伺います
- (8) 大会に向けての広報普及を含む機運醸成や「おもてなし」の具体的な取組みについて伺います
- (9) 大会を地域の発展などへどのように活かしていくことを考えているか伺います

2 デジタル化による行政サービスの効率化と質的向上などについて

- (1) 自治体デジタルトランスフォーメーション（DX）への対応について伺います
- (2) 令和2年2月から3月末日まで行われた市とNTTとの実証事業による成果について伺います
- (3) 実証事業の結果を踏まえた業務での活用やデジタル化を進めるための専門職員などの確保について伺います
- (4) パソコンのデスクトップやWeb会議をする際の背景に使用できる大田原市内の風景やお祭りのコンテンツの配信等を通じた情報発信による大田原市の魅力度向上について伺います

3 デジタル化による学びの保障などについて

- (1) 令和2年10月20日付の文部科学省から各都道府県教育委員会教育長宛の押印の見直し及びデジタル化に関する通知への対応状況について伺います
- (2) GIGAスクール構想（小中学生1人1台パソコン端末整備）に対応した机、黒板モニターなどの環境整備について伺います
- (3) 学童保育館におけるインターネット環境の整備について伺います

条例改正などの議案審議

大田原市議会で同意・賛成の採決が行われた議案の主なものは次のとおりです。

- 「大田原市一般職の職員の給与に関する条例及び大田原市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正」

人事院勧告に基づき期末手当 0.05 カ月分の引き下げ 11 月 30 日から、0.025 カ月の引き上げ令和3年4月1日から。市長・副市長・教育長、市議会議員も同様の扱い

- 「大田原市手数料条例の一部改正」

住民票の写しなどの市役所窓口交付料金の改定（令和3年4月1日から）

- 「大田原市火葬場条例の一部改正」

火葬場の老朽化対策費用に充てるために、大田原市民を対象に、無料から有料（5000 円以下）へ。市外の者は従来通りの料金（有料）。

- 「大田原市道路整備事業負担金徴収条例」

道路整備で著しく利益を受ける事業者から負担金を徴収できる。個人は非対象。

- 指定管理者の指定（来年度から5年間）

「大田原市水遊園直売所」、「大田原市湯津上温泉やすらぎの湯及び大田原市総合交流ターミナルセンター黒羽温泉五峰の湯」、「大田原市郷土資料館くらしの館及び大田原市黒羽ふるさと物産センター」、「那須野が原ハーモニーホール」

- 「市営バス中型低床バス（2台）、市営バス小型（バス1台）購入」

新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金（全額国の予算）による購入

- 「令和2年度大田原市一般会計補正予算（第5号）」

- ・予防接種費

高齢者肺炎球菌感染症や麻しん・風しん・ヒトパピローマウイルス肝炎症への予防接種予算など

- ・王将戦開催実行委員会（開催決定）

- ・障害者自立支援給付事業

介護給付・訓練等給付の年度内調整計上

- ・児童福祉法施行事務

保育園、認定こども園等の単価等見直し

- ・国県支出金精算還付金国及び県からの予算の清算

- ・文化振興費・体育奨励事務減額

コロナ禍による大会等の中止等

- 防災・減災、国土強靱化対策の推進を求める意見書の提出（議員提出）

- 大田原市選挙管理委員及び補充員（同上）

令和3年度市政に対する建議要望書（令和2年12月8日）の提出

新型コロナウイルス感染症の拡大などで厳しい経済社会情勢が続いており、令和3年度は大幅に税収が減少して大田原市の予算も大幅な削減が必要な状況になっています。

また、新型コロナウイルス感染症対策のために国から大田原市等への3回目の地方創生臨時交付金の交付が政府決定（12月）されました。

これらのことから、地方創生臨時交付金による事業とともに市が検討中の令和3年度予算案（いずれも3月議会で審議）について、所属する大田原創生会から津久井市長へ建議要望を行いました。



鈴木たかしのホームページ

<https://suzuki-takashi.11furusato.com/>

QRコードはこちら⇒

